

■総務課 総務係・財務係

1. 理事会、評議員会及び監査会の開催 (657千円)

- ・ 本会運営にかかる重要事項等審議のため、理事会、評議員会を開催した。また、本会の業務執行状況や経理執行状況、財産状況等に係る監査会を実施した。

○理事会

- ・ 5月25日(月) 第1回理事会－平成26年度事業報告及び決算承認等
- ・ 12月 7日(月) 第2回理事会－新規事業の追加、定款一部変更、各種規程一部改正、平成27年度補正予算、評議員委嘱等
- ・ 2月23日(月) 第3回理事会－定款一部変更、第2期財政健全化中期計画策定方針、各種規程一部改正、評議員委嘱等
- ・ 3月28日(月) 第4回理事会－第2期財政健全化中期計画策定、平成27年度補正予算、各種規程一部改正、平成28年度事業計画案及び予算案承認等

○評議員会

- ・ 5月25日(月) 第1回評議員会－平成26年度事業報告及び決算承認等
- ・ 12月 7日(月) 第2回評議員会－新規事業の追加、定款一部変更、平成27年度補正予算等
- ・ 2月23日(月) 第3回評議員会－定款一部変更
- ・ 3月28日(月) 第4回評議員会－第2期財政健全化中期計画策定、平成27年度補正予算、平成28年度事業計画案及び予算案承認、理事及び監事選任等

○監査会

- ・ 5月19日(火) 監査会
- ・ 10月29日(木) 第1回中間監査
- ・ 2月29日(月) 第2回中間監査

2. 財政基盤の確立

一般会費	26地区協議会 89,487口	26,845,960円
特別会費	26地区協議会 12,082口	12,081,500円
法人会費	329法人 375口	3,745,000円
共同募金	配分金 18,576,624円 ○一般配分金 17,576,624円 ○特別配分金 1,000,000円	
寄付金	162件 19,918,816円 ○一般寄付 52件 16,704,077円 ○指定寄付 106件 3,097,739円 ○支援金 4件 117,000円	
ボランティア基金	寄付 2件 210,000円 利息 11件 68,954円	

3. 広報活動 (6, 789千円)

- ・ 「福祉たより」の発行(5月号(第156号)、8月号(第157号)、10月号(第158号)、1月号(第159号))やホームページを活用し、本会実施事業や地区協議会活動状況等の情報発信に努めた。

4. 車いす同乗軽自動車の貸出【福島市受託事業】 (250千円)

- ・ 身体障がい者等の自力で歩行が困難な方がより多くの外出の機会を得ることにより、健康で生きがいのある生活が出来るよう車いす同乗軽自動車の貸出しを行った。

貸出件数 58件

5. 地域活動支援センター及び親の会等の支援 (1, 520千円)

- ・ 地域活動支援センターへの運営費補助 8ヶ所 240千円
- ・ 親の会等関係団体への運営費補助 16ヶ所 1,280千円

6. 会議室の貸出

- ・ 福祉関係団体やボランティア団体の利便に寄与することを目的として会議室の貸出しを行った。

・ 貸出件数 148件 ・ 利用者数 1,008名

7. 民生児童委員活動の支援

- ・ 福島市民生児童委員協議会活動を支援するため助成金を交付した。(500千円)
- ・ 福島市民生児童委員協議会の事務局として、各部会の活動や保護世帯のひとり親家庭等の支援(『森のつどい』)など民生委員・児童委員活動の支援を行った。

○第66回森のつどい

期 日 平成27年8月7日
場 所 仙台方面(仙台コカ・コーラボトリング蔵王工場・仙台市科学館)
参加者数 33名(児童19名、民生児童委員・主任児童委員等14名)

○福島市民生委員・児童委員研修会

期 日 平成28年2月26日

会 場 福島市公会堂

参加者数 412名

内 容 ①実践発表

テーマ 『地域における悪質商法被害を防ぐための支援活動』

発表者 飯野方部民生児童委員協議会長 阿部貞三氏
杉妻方部民生児童委員協議会長 羽田トモ子氏

②講演

演題1 『悪質商法の現状と早期発見による被害防止について』

講師 福島県警察本部 生活安全部生活安全企画課
地域安全活動アドバイザー 田原口孝氏

演題2 『マイナンバーについて』

講師 福島市総務部情報管理課システム管理係

主査 吉田謙一氏

8. 福祉バス運行事業 【福島市補助事業】 (2, 810千円)

福祉向上を目的とした施設利用や視察研修等に福祉バスの運行を行った。

運行実績	利用団体	148団体
	利用人数	2,665名

9. 実習生等の受入

将来の地域福祉の担い手たる社会福祉士等専門職養成のため、相談援助技術等を学ぶ場の提供を行った。

学校名	実習等名	受入れ人数
仙台医療福祉専門学校	社会福祉士相談援助実習	2名
東北福祉大学	社会福祉援助技術実習	1名
東北文化学園大学	ソーシャルワーク実習	1名
宮城学院女子大学	ソーシャルワーク実習	1名
東北福祉大学	体験学習	5名

10. 福祉サービス苦情解決実施状況

本会が提供する福祉サービスについて、利用者からの苦情に適切に対応することにより個人の権利を擁護し、安心して質の高いサービスが利用できるよう支援するとともに、苦情の社会性や客観性に鑑み、円滑・円満な解決を促進し、本会の信頼性や適性性の確保を図るため、苦情解決を行った。

○苦情の内容

職員の接遇（職員の対応や言葉遣い等）に関する事項	4件
計	4件

○解決の方法

苦情申出人又は利用者・家族等に説明して解決	4件
計	4件

■総務課 地域福祉係

1. 地区協議会活動の支援 (41, 466千円)

(1) 地区協議会研修会(地域ささえ合いネットワーク研修会)の開催

近年、要支援または要介護状態になり介護サービス等専門職による各種福祉サービスの提供が始まると、同じ地域に住んでいても地域から孤立してしまうという現状がある。これは、“(被介護者を)専門職に任せていけば大丈夫”という安心感と“(被介護者に対して)どう接していけばよいか分からない”という介護に対する理解の乏しさを表していると考えられる。

そこで、“介護の現状”について目を向けるとともに、要支援者を含めた地域づくりの重要性を再確認することを目的に開催した。

期 日	平成27年7月31日
会 場	ウエディング エルティ
内 容	講演 ふまじめ介護を通して地域との連携を考える ～涙と笑いの修羅場講談～
	講師 講談師 田 辺 鶴 英 氏
参加者数	93名

(2) 地区協議会活動及びサロン活動の支援

①地区協議会等支援

・飯坂協議会

期 日	平成27年5月28日
会 場	福島市役所飯坂支所2階会議室
対 象 者	地区内サロン活動者
内 容	行政報告「介護保険制度改正について」 講 話 「介護保険制度改正に伴うサロンの在り方について」 サロン同士の意見交換会

・三河台地区協議会

期 日	平成27年9月17日
会 場	三河台学習センター2階会議室
対 象 者	野田町南町会 役員
内 容	講話「ふれあいサロン活動及び立ち上げについて」

・第四地区協議会

期 日	平成27年9月18日
会 場	福島市保健福祉センター3階和室会議室
対 象 者	福祉協力員
内 容	企画・運営協力

・第三地区協議会

期 日	平成27年10月27日
会 場	松浪町町会会議室
対 象 者	福祉推進部員及びサロン活動者
内 容	サロン同士の意見交換 各活動への助言等

- ・ 第三地区協議会
 - 期 日 平成27年12月3日
 - 会 場 福島市保健福祉センター3階和室会議室
 - 内 容 会津若松市社会福祉協議会との懇談会（視察受け入れ）
- ・ 清水協議会
 - 期 日 平成28年2月26日
 - 会 場 清水ヶ丘団地集会所
 - 対 象 者 清水ヶ丘親和会 会員他
 - 内 容 講話「ふれあいサロン活動及び立ち上げについて」
- ・ 吉井田協議会
 - 期 日 平成28年2月2日
 - 会 場 福島市役所吉井田支所2階大会議室
 - 内 容 講演会運営補助
- ・ 三河台地区協議会
 - 期 日 平成28年3月14日
 - 会 場 福島市三河台学習センター2階大ホール
 - 内 容 企画・運営協力
- ・ 松川協議会
 - 期 日 平成28年3月23日
 - 会 場 福島市水原生活改善センター
 - 内 容 講話「ふれあいサロン活動及び立ち上げについて」

②配食サービス等助成事業

年末年始にかけて、地域の高齢者及び障がい者等の要援護者を支援し、歳末たすけあい運動の趣旨にふさわしい配食サービス等の事業を実施する地区協議会に、事業費の一部を助成した。

地区協議会名	助成金額(円)
第三地区協議会	50,000
第四地区協議会	25,000
第五地区協議会	50,000
三河台地区協議会	50,000
大笹生協議会	50,000
大波協議会	16,000
立子山協議会	50,000
飯坂協議会	34,000
飯野協議会	50,000
合 計	375,000

③ふれあいサロン運営助成事業

ふれあいサロンを開催するグループに対し、助成金を交付し活動支援を行った。

地区協議会名	助成サロン数	助成金額(円)	助成金額内訳
第三地区協議会	2	19,300	@10,000円×1サロン @9,300円×1サロン
第五地区協議会	3	27,200	@20,000円×1サロン @7,200円×1サロン
三河台地区協議会	2	30,000	@20,000円×1サロン @10,000円×1サロン
渡利協議会	13	146,300	@20,000円×2サロン @10,000円×9サロン @8,400円×1サロン @7,900円×1サロン
杉妻協議会	9	105,000	@30,000円×1サロン @20,000円×1サロン @10,000円×4サロン @5,000円×3サロン
蓬萊協議会	19	394,100	@30,000円×8サロン @20,000円×5サロン @10,000円×4サロン @8,800円×1サロン @5,300円×1サロン
清水協議会	26	382,800	@30,000円×4サロン @20,000円×5サロン @10,000円×15サロン @7,200円×1サロン @5,600円×1サロン
東部協議会	3	50,000	@30,000円×1サロン @10,000円×2サロン
鎌田協議会	5	60,000	@20,000円×1サロン @10,000円×4サロン
余目協議会	11	107,700	@10,000円×10サロン @7,700円×1サロン
笹谷協議会	1	10,000	@10,000円×1サロン
大笹生協議会	2	30,000	@20,000円×1サロン @10,000円×1サロン

地区協議会名	助成サロン数	助成金額(円)	助成金額内訳
吉井田協議会	2	20,000	@10,000円×2サロン
西協議会	4	60,000	@30,000円×1サロン @10,000円×3サロン
大波協議会	1	10,000	@10,000円×1サロン
立子山協議会	2	20,000	@10,000円×2サロン
飯坂協議会	13	139,600	@20,000円×1サロン @10,000円×11サロン @9,600円×1サロン
松川協議会	11	130,000	@30,000円×1サロン @10,000円×10サロン
信夫協議会	4	110,000	@30,000円×3サロン @20,000円×1サロン
吾妻協議会	4	40,000	@10,000円×4サロン
飯野協議会	24	258,600	@30,000円×1サロン @10,000円×22サロン @8,600円×1サロン
計	161	2,150,600	

④ふれあいサロン活動支援

各サロンにおいて、レクリエーション等の支援を行った。

- ・平成27年 5月25日 第五地区「いきいきサロンさつき」
- ・平成27年 7月9日 飯野地区「志保井ヶ丘ふれあいサロン」
- ・平成27年 7月15日 飯坂地区「石堂いきいきサロン」
- ・平成27年 8月17日 吉井田地区「ふらーっと茶の間方木田」
- ・平成27年 9月4日 立子山地区「4区ふれあいサロン」
- ・平成27年 9月11日 飯坂地区「サロン桑の実」
- ・平成27年 9月30日 飯坂地区「ふれあいサロンあゆかわ」
- ・平成27年11月24日 立子山地区「5区6区ふれあいサロン」
- ・平成27年12月16日 東部地区「館腰ひまわりサロン」
- ・平成28年 1月22日 第四地区「つばきサロン」
- ・平成28年 2月12日 飯野地区「志保井ヶ丘ふれあいサロン」
- ・平成28年 2月24日 第四地区「つばきサロン」
- ・平成28年 3月11日 笹谷地区「毎日元気・はつらつひろば」
- ・平成28年 3月25日 第五地区「いきいきサロンやつるぎ」

⑤ふれあいサロン・社協行事傷害補償（傷害保険）加入手続き

ふれあい（いきいき）サロン活動を安心して行えるよう傷害保険への加入を勧め、加入手続きの支援を行った。

加入手続き件数 1 2 3 件
 加入人数 3, 0 0 4 名（延べ5, 455, 264 名）

2. 子育て支援事業（復興支援事業）（2, 0 4 0 千円）

（1）おもちゃ広場

開催日 毎週月曜日から土曜日（祝祭日を除く）
 時間 10：00～15：00（最終受付14：30）
 会場 福島市保健福祉センター6階展望ロビー
 内容 室内に大型遊具等を設置し、子ども達に遊び場を提供した。
 また、随時イベントを実施した。

来場者数

月	子ども (人)	保護者 (人)	団体 (人)	ボランティア (人)	総計 (人)
累計	44, 137	37, 509	38	575	82, 259
4	1, 126	909	0	10	2, 045
5	1, 027	911	0	10	1, 948
6	1, 705	1, 546	0	11	3, 262
7	1, 723	1, 448	0	8	3, 179
8	2, 136	1, 794	0	15	3, 945
9	1, 226	1, 170	15	10	2, 421
10	1, 140	1, 056	0	8	2, 204
11	1, 145	1, 039	16	9	2, 209
12	1, 240	1, 078	0	5	2, 323
1	1, 196	1, 077	0	5	2, 278
2	1, 258	1, 152	0	8	2, 418
3	1, 429	1, 155	0	7	2, 591
年計	16, 351	14, 335	31	106	30, 823
総計	60, 488	51, 844	69	681	113, 082

（2）親子ふれあい劇場

・ 1回目

期 日 平成27年5月30日
 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 内 容 エプロン上田氏による
 「エプロンシアター」「マジック」「絵本の読み聞かせ」

来場者数 112名

- ・ 2回目
 - 期 日 平成27年9月5日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 「劇団にんぎょう畑」による 人形劇
 - 来場者数 80名
- ・ 3回目
 - 期 日 平成27年12月11日
 - 会 場 福島市保健福祉センター6階おもちゃ広場
 - 内 容 「がらくた座」による 人形劇 他
 - 来場者数 101名

(3) リフレッシュツアー

- 期 日 平成28年3月5日
- 内 容 いわき市「スパ・リゾート・ハワイアンズ」
- 参加者 118名 (うち ボランティア11名)

3. 障がい児者の余暇活動支援事業 (826千円)

(1) 第41回おひさまといっしょに

(実行委員会構成：福島市手をつなぐ親の会、福島市肢体不自由児者親の会、福島市、福島市社会福祉協議会)

日頃家の中で過ごすことが多く、自然に親しむ機会の少ない障がい児を招待し、一日を明るく太陽と青空のもとで、障がい児、ボランティア、市民が一体となり楽しいレクリエーションを通じて、明日への希望と市民の福祉に対する理解を高めることを目的に開催した。

- 期 日 平成27年9月27日
- 会 場 福島市児童公園
- 内 容 レクリエーション (バルーンパフォーマンス、フラダンス)
福島市児童公園の遊具乗り放題 (お金を入れて乗るのり物を除く)
- 参加者数 356名 (うち ボランティア41名)

(2) 第40回障がい者スポーツ大会

(実行委員会構成：県北地区精神保健福祉会、福島市身体障がい者福祉協会、福島市障害者スポーツ協会、福島市手をつなぐ親の会、福島市、福島市社会福祉協議会)

障がい者がスポーツを通じ、健康の維持管理と社会参加の促進を図るとともに、相互親睦を深め自立更生に寄与し、市民の障がい者に対する理解を深めることを目的に開催した。

- 期 日 平成27年10月10日
- 会 場 福島市信夫ヶ丘競技場
- 参加者数 35団体 487名 (うち ボランティア60名)

(3) 第43回障がい児クリスマス大会

(実行委員会構成：福島市手をつなぐ親の会、福島市肢体不自由児者親の会、
福島市、福島市社会福祉協議会)

日頃レクリエーションに親しむ機会の少ない障がい児を招待し、障がい児、ボランティア市民が一体となり、楽しいクリスマス大会を通じて、明日への希望と市民の福祉に対する理解を深めることを目的に開催した。

期 日 平成27年12月19日
会 場 福島市吾妻学習センター多目的ホール
内 容 音楽療法士 近藤美智子氏によるコンサート
参加者数 509名 (うち ボランティア53名)

(4) 障がい児餅つき大会

期 日 平成28年1月16日
会 場 ウェディング エルティ
参加者数 118名 (うち ボランティア27名)

4. 地域ささえ合いネットワーク事業 【福島市受託事業】 (5,164千円)

町内会等(サロン)単位に見守りネットワークを構築し、地域の中で見守りを要する高齢者世帯を訪問する等、見守り活動を実施した。

また、地域住民同士での見守り訪問を基盤として、町内会や民生委員、地域包括支援センター及び社会福祉協議会等の情報の共有及び連携・協力体制を構築していく。

さらには、見守り活動の導入として「住民の支え合いマップ」の作成を行う。

①モデル地区サロン

第五地区「いきいきサロンやつるぎ」 蓬萊地区「桜台健康教室」
鎌田地区「マイタウンおやまごし」 飯坂地区「曲屋・石橋いきいきサロン」
松川地区「美郷ふれあいサロン」

②事業実施内容

ア) 地域ささえ合いネットワーク研修会(地区協議会研修会)の開催 (再掲)

期 日 平成27年7月31日
会 場 ウェディング エルティ
内 容 講演 ふまじめ介護を通して地域との連携を考える
～涙と笑いの修羅場講談～
講師 講談師 田辺鶴英氏
参加者数 93名

イ) 復興庁 平成27年度「新しい東北」先導モデル事業

「住民主体の地域支え合い活動と事業の立ち上げ支援事業」 住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座の開催

((特非) 全国コミュニティライフサポートセンターとの共催)

【活動事例発表】

期 日 平成27年8月23日
会 場 宮城県大崎市「古川保健福祉プラザ」
内 容 “ふらーっと茶の間方木田” 活動事例発表及び福島市社協の支援体制について
参加者数 約50名

【福島会場における講座】

期 日 平成27年10月20日
会 場 福島市保健福祉センター5階大会議室
内 容 講義 なぜ今、『地域支え合い活動』なのか
講師（コーディネーター）
仙台白百合女子大学 人間学部
教授 大坂 純 氏
実践報告 他県における活動事例発表（2団体）
参加者数 69名

【二本松会場における講座】（福島会場受講者のステップアップ講座）

期 日 平成27年12月5日～6日
会 場 二本松市「市民交流センター多目的室」
内 容 地域支え合い活動の実践に向けて
参加者数 20名

ウ) シニアライフ・ワーク研究会

期 日 平成27年11月30日
会 場 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z 4階視聴覚室
内 容 講話 地域を支え合うネットワークづくり
参加者数 60名

エ) 福島市「市民学習プラン支援事業」講演会

期 日 平成28年1月31日
会 場 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z 4階大会議室
内 容 講義 支え合い活動と生きがいづくり
活動紹介（福島市内で先駆的な支え合い活動を実践する団体紹介）
参加者数 50名

オ) ふれあい・いきいきサロン交流会

期 日 平成28年3月8日・16日
会 場 福島市保健福祉センター5階大会議室
内 容 ①ふらーっと茶の間 及び モデルサロン団体による事例発表
②情報交換会
③福島市地域包括支援センター連絡協議会保健師部会の協力による体操
参加者数 モデルサロン及び市内各サロン活動者、地域包括支援センター職員、行政職員 146名（8日…92名、16日…54名）

カ) モデル地区サロン活動

地域に即した見守り活動実施計画の策定及び実施
住民ささえ合いマップづくり

5. 福島市権利擁護センター運営事業 【福島市受託事業】 (1, 200千円)

平成28年1月に新規受託。

権利擁護に関する総合的かつ専門的な相談、支援を可能にするため、成年後見制度に関する相談、支援体制や専門職とのネットワークの構築等の実施(平成28年4月開所)に向け、体制整備を図った。

6. 日常生活自立支援事業(「あんしんサポート」)【福島県社協受託事業】 (3, 859千円)

認知症高齢者等、判断能力の不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを提供し支援を行った。

【契約者数(利用者数)】

(H28.3.31現在)

障害類型	認知高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
契約者数	25	8	10	7	50

新規契約者数 7件(延べ156件)

解約者数 6件(延べ106件)

相談援助件数(延べ件数) 2,323件

相談時間 2,379時間30分

7. 福祉教育推進事業 (247千円)

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施

福島市内の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒に対し、社会福祉への理解と関心を高め、社会福祉奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭や地域社会の啓発を図ることを目的に、「ボランティア協力校」8校を指定した(助成金交付)。

【ボランティア協力校(指定校)】

福島市立清水小学校	福島市立佐原小学校
福島市立飯坂小学校	福島市立中野小学校
福島市立松川小学校	福島市立金谷川小学校
福島市立大森小学校	福島市立水保小学校

(2) 福祉教育等学習支援

将来の地域を担う子どもたちの成長の一助となるよう、学校でのボランティア・地域活動や総合学習の時間への支援(体験や講話など)を行った。

また、企業や地域団体等が行う福祉講座等(社会貢献活動)への支援を行った。

学校名	学年	期 日	人数	内容及び目的
福島大学 附属中学校	3 学年	H27. 5. 14 H27. 5. 19 H27. 5. 26 H27. 5. 28	140	<p>【高齢者擬似体験】 高齢者の心を推察する。(体の状態や心理状態を推測し、高齢者について理解を深める。)</p> <p>介助者の役割を理解する。(どのようにサポートすることが適切なのかを考え、行動への機会とする。)</p>
大鳥中学校	3 学年	H27. 6. 2 H27. 6. 11 H27. 6. 18	63	<p>【福祉講話・高齢者擬似体験・下肢障がい の理解】 福祉に対する興味・関心を高め、偏見や差別のない人権に根ざす共生と平等の考え方を理解させ、思いやりの心を育てる。 学習内容を将来の自己の進路決定に役立てさせる。</p>
岡山小学校	5 学年	H27. 6. 25 H27. 6. 29 H27. 7. 9	72	<p>【高齢者擬似体験】 高齢者の体の感じ方を理解し、今後自分がどのように接してはいけばいいのかを考えることができる。</p>
信夫中学校	1 学年	H27. 7. 6	60	<p>【高齢者擬似体験・下肢障がいの理解】 福祉関係の体験活動を通して、高齢者や障がい者の方々の理解を深め、様々な人と共に生活していく大切さを学ぶ。</p>
南向台小学校	5 学年	H27. 9. 7 H27. 10. 6 H27. 10. 23	26	<p>【高齢者擬似体験・下肢障がいの理解・視 覚障がいの理解】 福祉の課題を追究することを通して、自分たちでできる身近なボランティア活動について考え、提案したり実践したりすることができるようにする。</p>
平田小学校	6 学年	H27. 9. 17	9	<p>【高齢者擬似体験】 特別養護老人ホームに入居している人達を理解するため。</p>
御山小学校	6 学年	H27. 11. 9 H27. 11. 11 H27. 11. 17	72	<p>【高齢者擬似体験・下肢障がいの理解】 高齢者擬似体験や車椅子体験を通して、それぞれの立場の人々の気持ちや日々の生活の様子を推察できるようにすると共に、自分たちにできることは何かを考え、実行しようとする気持ちを育てる。</p>
北沢又小学校	5 学年	H27. 12. 8 H27. 12. 14 H27. 12. 21	73	<p>【高齢者擬似体験】 高齢者の身体の不自由さを理解し、共に生きることを考えるきっかけにできるようにする。</p>

学校名	学年	期 日	人数	内容及び目的
桜の聖母学院 小学校	4 学年	H28. 2. 1	32	【下肢障がい・視覚障がいの理解】 車いすやアイマスクなどを体験することで、体の不自由な方の身体感覚や気持ちを予測し、健常者としてどのように接したらよいか、何ができるかを考える機会を持つ。
清水小学校	6 学年	H28. 2. 19 H28. 2. 22 H28. 2. 23	78	【高齢者擬似体験】 高齢者擬似体験を通して、高齢者の方がどんなことに困っているのか、何故困っているのかを理解し、自分たちにできることを考える。
福島看護専門学校	1 学年	H28. 2. 25	40	【高齢者擬似体験】 ①高齢者の身体機能の変化を知り、その変化が日常生活にどのように影響しているかを学ぶ。 ②加齢に伴う身体機能の変化を考慮し、環境調整や援助のあり方を考える。 ③外観の変化からのボディイメージの変化を体験し、高齢者の身だしなみを考える。

企業・団体名	対象者	期 日	人数	内容及び目的
福島県北保健 福祉事務所	市民	H27. 7. 14	20	【福祉講話】 「ボランティアの心得」 【車椅子体験】 「安全な操作の仕方」 難病ボランティアとして活動できる人材を養成する。

8. ボランティアセンター運営事業 (4, 485千円)

(1) ボランティア等相談業務

ボランティアに関する活動相談、派遣依頼相談、それに伴うコーディネート業務、及びボランティア活動保険等の加入手続きを行った。

相談対応件数 1, 682件

ボランティア活動保険等加入手続き件数(延べ件数) 444件

(内訳)

ボランティア活動保険 327件

個人 92件

団体 235件(5, 276名)

ボランティア行事用保険 99件

福祉サービス総合補償 13件

送迎サービス補償 5件

(2) ボランティア活動保険助成事業

福島市内居住で、ボランティア活動保険に加入した者に対し、1人100円の助成を行った。

助成合計金額 390,000円

(3) 第28回「ふれあい広場」の開催

地域に根ざした福祉活動の推進に向け、市民の福祉に対する理解と協力をいただくことを目的に開催した。

期 日 平成27年11月3日(火・祝)
会 場 JR福島駅前通り
内 容 障がい者施設製品展示即売
福祉体験コーナー 盲導犬(PR犬)による実演
点字しおり等作成 ボランティア相談コーナー
赤い羽根共同募金街頭募金 他

(4) ボランティア養成講座の開催

①救命講座

ふれあいサロン活動中に、突然ケガや病気と遭遇するかは予測できない。ケガ人や急病人を発見した際、医師や救急隊に引き継ぐまでの正しい知識と技術を学ぶことで、適切な救命処置・応急処置が期待できることから、救命に関する知識と技術の向上を目的に開催した。

期 日 平成27年6月17日・22日
会 場 福島市保健福祉センター3階小会議室および5階大会議室
内 容 ■講 義 病気の予防と対処法
～夏期間の病気の対策について～
講 師 福島市中央地域包括支援センター
保健師 國 島 さおり

■普通救命講習

(心肺蘇生法・AED使用法・気道異物の除去・止血法)

講 師 福島消防署 救急係

参加者数 19名

②サマーショートボランティアスクール

市内の学校に在学中の生徒・学生及び社会人等を対象に、夏休みを中心とした一定期間にボランティア活動を体験し、自分たちが住んでいる地域社会の福祉課題や福祉の現状を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進しボランティア活動の振興を図ることを目的に実施した。

開 催 日 平成27年7月20日～平成27年8月23日
参加者数 65名(延べ 96名)
受入施設 34施設

③男性のための料理講座

男性のボランティア活動参加を推進するため、中高年齢層の男性を対象に養成講座を開催し、栄養や調理方法の基礎知識等を学習するとともに、地域福祉活動に活かすことを

目的に開催した。

期 日 平成27年11月2日・9日・16日・30日
会 場 福島市保健福祉センター4階調理実習室
内 容 栄養講座及び調理実習
講師 在宅栄養士 富田 伊都子 氏
参加者数 17名

④男性のための料理講座（フォローアップ研修）

男性のための料理講座受講生が受講での経験を活かし、地域でのボランティア活動または福祉活動の展開へつなげていけるよう開催した。また、フォローアップ研修を通して、調理ボランティアが立ち上がった。

期 日 平成27年12月18日
会 場 大波地区多目的集会所
内 容 調理実習及びふれあいサロン参加者との会食・交流
講師 在宅栄養士 菅野 由美子 氏
協力団体 福島市社会福祉協議会大波協議会「下組ふれあいサロン」
参加者数 10名
対象者数 30名

⑤傾聴ボランティア講座

相手の気持ちに寄り添って話しを聞く「傾聴ボランティア」を養成するため開催した。また、講座終了後には、新たなボランティアグループが立ち上がった。

参加者数 23名

期 日 ・ 会 場	内 容
期 日： 平成27年11月10日 会 場： 福島市保健福祉センター 3階小会議室	●オリエンテーション ボランティアとは ●傾聴って何？ ～よい聞き手となるために傾聴の意味と意義～ 講 師 福島学院大学福祉学部福祉心理学科 臨床心理士 佐藤 佑貴 氏
期 日： 平成27年11月19日 会 場： 福島市保健福祉センター 3階小会議室	●傾聴の方法と技術 ～事例から傾聴を学ぶ～ 講 師 福島市中央包括支援センター 社会福祉士 本田 祐一 ●傾聴ボランティア活動実践者からの体験談 発表者 園芸福祉サロン 野の花ガーデン 代表 岩崎 キヨ子 氏 傾聴ボランティアはるか 代表 紺野 久男 氏
平成27年11月20日 ～平成27年11月30日	●市内施設でのボランティア活動 施設での傾聴ボランティア体験
期 日： 平成27年12月1日 会 場： 福島市保健福祉センター 3階小会議室	●ボランティア活動を体験しての振り返り 講 師 福島学院大学福祉学部福祉心理学科 臨床心理士 佐藤 佑貴 氏

9. 「福島市地域福祉活動計画2016」の策定 (1, 228千円)

第三次地域福祉活動計画となる「地域福祉活動計画2016」(策定期間:平成28年度から平成32年度まで)の策定に取り組んだ。

(1) 地区協議会役員との懇談会

地区協議会名	期 日	会 場
第一地区協議会	平成27年10月22日	ホテル辰巳屋
第二地区協議会	平成27年9月16日	市保健福祉センター2F社協議室
第三地区協議会	平成27年7月10日	松浪町町会会議室
第四地区協議会	平成27年6月3日	市保健福祉センター4F第一保健指導室
第五地区協議会	平成27年6月24日	市立清明小学校1Fふれあい広場
三河台地区協議会	平成27年6月29日	三河台学習センター2F会議室
渡利協議会	平成27年6月19日	市役所渡利支所2F会議室
杉妻協議会	平成27年6月15日	市役所杉妻支所2F会議室
蓬莱協議会	平成27年5月7日	市役所蓬莱支所分館2階会議室
清水協議会	平成27年6月30日	市役所清水支所2F会議室
東部協議会	平成27年6月23日	市役所東部支所2F会議室
鎌田協議会	平成27年6月5日	市役所北信支所2F大会議室
瀬上協議会	平成27年6月9日	市役所北信支所2F大会議室
余目協議会	平成27年6月10日	市役所北信支所2F大会議室
笹谷協議会	平成27年6月12日	市役所信陵支所2F会議室
大笹生協議会	平成27年7月3日	大笹生集会所
吉井田協議会	平成27年6月4日	市役所吉井田支所2F大会議室
西協議会	平成27年7月7日	市役所西支所2F会議室
土湯温泉町協議会	平成27年8月20日	市役所土湯温泉町支所3F会議室
大波協議会	平成27年7月1日	大波多目的集会所
立子山協議会	平成27年6月16日	市役所立子山支所会議室
飯坂協議会	平成27年7月8日	市役所飯坂支所2F大会議室

地区協議会名	期 日	会 場
松川協議会	平成 27 年 9 月 3 日	市役所松川支所 2 F 会議室
信夫協議会	平成 27 年 6 月 26 日	市役所信夫支所 2 F 会議室
吾妻協議会	平成 27 年 5 月 18 日	吾妻学習センター 2 F 会議室
飯野協議会	平成 27 年 6 月 17 日	市役所飯野支所 2 F 会議室

(2) 福島市地域福祉活動計画 2016 策定委員会

①第 1 回策定委員会

期 日 平成 27 年 7 月 27 日
 会 場 福島市社会福祉協議会 2 階会議室
 内 容 ・ 委嘱状交付
 ・ 福島市地域福祉活動計画 2016 の策定について
 ・ 今後のスケジュールについて

②第 2 回策定委員会

期 日 平成 27 年 11 月 27 日
 会 場 福島市社会福祉協議会 2 階会議室
 内 容 ・ 福島市地域福祉活動計画 2016 の素案について
 ・ その他

③第 3 回策定委員会

期 日 平成 28 年 1 月 29 日
 会 場 福島市社会福祉協議会 2 階会議室
 内 容 ・ 福島市地域福祉活動計画 2016 の素案について
 ・ その他

④第 4 回策定委員会

期 日 平成 28 年 3 月 7 日
 会 場 福島市社会福祉協議会 2 階会議室
 内 容 ・ 福島市地域福祉活動計画 2016 の原案について
 ・ その他

■総務課 生活復興支援室

1. 東日本大震災に伴う避難者支援 (31,107千円)
- 生活支援相談員9名(県社協からの受託事業)を配置し、本市内への避難者に対し生活支援並びに避難元社会福祉協議会の支援を行った。
相談・対応件数 7,056件
相談・対応時間 4,559時間55分
(1件当たり相談・対応時間 約40分)

(1) 福島市内への避難者支援

ア. ホットサロン「てとて」の開催

- 福島市内のみなし仮設住宅(民間借り上げ住宅)等で避難生活を送る方へ憩いの場を提供し、住民同士の交流や情報交換、仲間づくり、避難者への生活相談支援を目的に開催した。

開催日

平成27年 4月 8日・4月22日・5月13日・5月27日
6月10日・6月24日・7月 8日・7月22日
8月12日・8月26日・9月16日・9月30日
10月14日・10月28日・11月11日・11月25日
12月9日・12月22日
平成28年 1月13日・1月27日・2月10日・2月24日
3月 9日・3月23日

述べ参加人数 1,703名

イ. ホットサロン「てとて」リフレッシュツアーの開催 (1,431千円)

- 福島市内のみなし仮設住宅(民間借り上げ住宅)等で避難生活を送る住民同士の交流や情報交換、仲間づくり及び心身のリフレッシュを図ることを目的に開催した。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| ① 期 日 | 平成27年 6月 2日 |
| 内 容 | 医王寺見学、フルーツ狩り(さくらんぼ)、飯坂温泉 |
| 参加者数 | 39名 |
| ② 期 日 | 平成27年 6月 9日 |
| 内 容 | 医王寺見学、フルーツ狩り(さくらんぼ)、飯坂温泉 |
| 参加者数 | 41名 |
| ③ 期 日 | 平成27年10月27日 |
| 内 容 | 末廣酒造 嘉永蔵見学、起上り小法師絵付け体験、東山温泉 |
| 参加者数 | 39名 |
| ④ 期 日 | 平成27年11月12日 |
| 内 容 | 末廣酒造 嘉永蔵見学、起上り小法師絵付け体験、東山温泉 |
| 参加者数 | 38名 |

開催回数合計 4回

参加延べ人数 157名

(2) 応急仮設住宅等入居者支援

- ・ 福島市内に設置された応急仮設住宅及びみなし仮設住宅等で避難生活を送る世帯へ、避難元社会福祉協議会職員等に同行訪問または独自訪問を行い、生活相談に応じた。

訪問件数	8, 344件
(内訳)	相談・見守り等 154件
	様子伺い 4,461件
	留守 3,729件

2. 生活福祉資金貸付相談及び生活援助資金の貸付 (3,151千円)

- ・ 低所得世帯の自立更生のため、民生児童委員の協力により生活福祉資金の貸付等相談及び生活援助資金の貸付を行った。

○貸付等相談業務

相談件数 (延件数)	1,062件
相談時間	339時間40分
	(1件当たり 平均相談時間 約20分
	相談時間1時間以上: 45件
	相談時間2時間以上: 5件)

○生活福祉資金 (県社協からの受託事業)

貸付決定件数	22件
--------	-----

○生活援助資金

貸付件数	37件
貸付金額	1,015,000円

■総務課 指定相談支援事業所

1. 市町村障がい者相談支援事業【福島市受託事業】 (10,958千円)

- ・ 在宅障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、各種支援を行なった。

- 生活相談支援
- ピアカウンセリング等の支援
- 福祉サービス利用援助及び情報提供
- 障害支援区分認定調査
- 計画相談支援

実施状況は次のとおりである。

1 相談支援を利用した障害者等の人数 「(1) ≤ (2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)」

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	177	164	13	0	1	0	0	0
障害児	1	1	0	0	0	0	0	0
計	178	165	13	0	1	0	0	0

2 支援方法

	訪問 (1)	来所相談 (2)	同行 (3)	電話相談 (4)	電子メール (5)	個別支援会議 (6)	ピアカウンセリング (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	210	265	0	97	0	0	255	0	827

3 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援 (1)	障害や病状の理解に関する支援 (2)	健康・医療に関する支援 (3)	不安の解消・情緒安定に関する支援 (4)	保育・教育に関する支援 (5)	家族関係・人間関係に関する支援 (6)	家計・経済に関する支援 (7)	生活技術に関する支援 (8)	就労に関する支援 (9)
件数	271	3	18	289	0	17	0	3	3

	社会参加・余暇活動に関する支援 (10)	権利擁護に関する支援 (11)	その他 (12)	計 (13)
件数	255	0	126	985

4 連絡調整

	サービス事業所 (1)	就労関係 (2)	他相談支援事業所 (3)	地域包括ケアマネ (4)	医療機関 訪問看護 (5)	民生委員 (6)	行政機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件数	74	0	10	20	16	0	32	0	152

5 障害支援区分認定調査

	福島市	静岡市	計
件数	125件	1件	126件

6 計画相談支援

	福島市	桑折町	計
件数	16件	1件	17件

平成27年度 在宅福祉サービスセンター事業報告

1. 介護保険事業

(1) 訪問介護事業(介護予防訪問介護事業を含む) (収入 122,910千円 支出 116,060千円)

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介助、その他生活全般にわたる援助を行った。

①ホームヘルプサービスセンター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	3,316	3,158	3,248	3,378	3,205	3,350	3,556	3,410	3,502	3,202	3,190	3,342	39,857
実利用者合計	259	260	262	263	263	268	271	275	268	253	251	255	月平均 262.3
1人当たり平均利用回数	12.8	12.1	12.4	12.8	12.2	12.2	12.2	12.2	12.2	12.7	12.7	13.1	月平均 12.5
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	月平均 30.5
一日あたり	110.5	101.9	108.3	109	103.4	111.7	114.7	113.7	113.0	103.3	110.0	107.8	月平均 108.9
契約者数	286	282	284	284	285	287	290	295	296	293	287	282	月平均 287.6
職員数 常勤	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	月平均 11.0
職員数 非常勤	60	60	60	59	57	56	58	56	55	55	55	55	月平均 57.2
合計	71	71	71	70	68	67	69	67	66	66	66	66	月平均 68.2
ヘルパー1人当たり稼働件数	46.7	44.5	45.7	48.3	47.1	50.0	51.5	50.9	53.1	48.5	48.3	50.6	月平均 48.8

(2) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む) (収入 125,562千円 支出 117,860千円)

利用者の閉じこもりの予防及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助や介護、機能訓練等を行った。

①中央デイサービスセンター(一般型:定員30名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	530	559	553	555	524	547	571	529	496	477	492	526	6,359
実利用人数	77	80	80	85	81	78	82	79	75	71	72	75	月平均 77.9
1人あたり月平均利用回数	6.9	7.0	6.9	6.5	6.5	7.0	7.0	6.7	6.6	6.7	6.8	7.0	月平均 6.8
契約者数	89	91	90	92	93	94	90	90	87	87	82	84	月平均 89.1
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309
1日あたり利用者数	20.4	21.5	21.3	20.6	20.2	21.0	21.1	21.2	20.7	19.9	19.7	19.5	月平均 20.6
稼働率(%)	67.9%	71.7%	70.9%	68.5%	67.2%	70.1%	70.5%	70.5%	68.9%	66.3%	65.6%	64.9%	月平均 68.6%

②中央デイサービスセンター(認知症型:定員12名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	135	122	125	136	118	144	148	123	133	131	121	129	1,565
実利用人数	20	17	19	12	20	21	20	19	18	18	18	19	月平均 18.4
1人あたり月平均利用回数	6.8	7.2	6.6	11.3	5.9	6.9	7.4	6.5	7.4	7.3	6.7	6.8	月平均 7.2
契約者数	21	20	22	21	21	22	22	22	21	20	20	20	月平均 21.0
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309
1日あたり利用者数	5.2	4.7	4.8	5.0	4.5	5.5	5.5	4.9	5.5	5.5	4.8	4.8	月平均 5.1
稼働率(%)	43.3%	39.1%	40.1%	42.0%	37.8%	46.2%	45.7%	41.0%	46.2%	45.5%	40.3%	39.8%	月平均 42.2%

○中央デイサービスセンター全体														(収入 71,519千円 支出 68,391千円)	
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
延べ利用人数	665	681	678	691	642	691	719	652	629	608	613	655	7,924		
実利用人数	97	97	99	97	101	99	102	98	93	89	90	94	月平均 96.3		
1人あたり月平均利用回数	6.9	7.0	6.8	7.1	6.4	7.0	7.0	6.7	6.8	6.8	6.8	7.0	月平均 6.9		
契約者数	110	111	112	113	114	116	112	112	108	107	102	104	月平均 110.1		
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309		
1日あたり利用者数	25.6	26.2	26.1	25.6	24.7	26.6	26.6	26.1	26.2	25.3	24.5	24.3	月平均 25.6		
稼働率(%)	60.9%	62.4%	62.1%	60.9%	58.8%	63.3%	63.4%	62.1%	62.4%	60.3%	58.4%	57.8%	月平均 61.1%		

③飯野デイサービスセンター(一般型:定員25名)														(収入 54,043千円 支出 49,541千円)	
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
延べ利用人数	534	546	561	570	538	559	596	545	486	486	526	592	6,539		
実利用人数	77	77	83	80	79	81	78	81	77	75	75	77	月平均 78.3		
1人あたり月平均利用回数	6.9	7.1	6.8	7.1	6.8	6.9	7.6	6.7	6.3	6.5	7	7.7	月平均 7.0		
契約者数	84	84	83	89	88	88	87	87	86	85	85	83	月平均 85.8		
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309		
1日あたり利用者数	20.5	21.0	21.6	21.1	20.7	21.5	22.1	21.8	20.3	20.3	21.0	21.9	月平均 21.1		
稼働率(%)	82.2%	84.0%	86.3%	84.4%	82.8%	86.0%	88.3%	87.2%	81.0%	81.0%	84.2%	87.7%	月平均 84.6%		

(3)居宅介護支援事業(介護予防支援事業を含む) (収入 42,200千円 支出 41,587千円)

利用者の心身状況、その他置かれている環境に応じて利用者の選択のに基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプランの作成を行った。

①居宅介護支援事業所													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	326	316	328	338	319	326	324	321	323	321	307	319	月平均 322
稼働日数	21	18	27	22	21	19	23	19	19	19	20	22	250
契約者数	348	352	360	362	368	376	378	381	381	387	361	365	月平均 368.3
職員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	月平均 9.9
受持ち率(%)	83.5%	81.0%	84.1%	86.6%	81.7%	83.5%	83.0%	82.3%	82.8%	82.3%	78.7%	90.8%	月平均 83.4%
要介護認定調査件数	13	10	14	10	13	12	12	7	7	13	9	11	月平均 10.9

2. 受託事業													
(1) 地域包括支援センター (収入 45,222千円 支出 43,928千円)													
保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を配置して、市民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。													
主な業務は、介護予防事業及び包括的支援事業(①介護予防ケアマネジメント業務、②総合相談・支援業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント事業)で、行政や民生委員、関係機関との連携を構築して実施した。													
①中央地域包括支援センター(担当圏域内：第1・第2・第4方部)													
1. 要支援1・2の認定者の状況把握数 (収入 25,833千円 支出 26,610千円)													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2把握人数	15	23	44	30	48	15	25	21	16	15	21	32	305
2. 介護予防サービス計画の作成件数 (職員数は実勤務人数)													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	113	111	117	124	124	124	123	122	116	115	112	102	1,403
委託件数	74	75	76	71	71	68	71	72	76	79	76	75	884
合計	187	186	193	195	195	192	194	194	192	194	190	177	2,289
包括職員数(b)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	月平均 4.0
一人当たりの担当件数(a)／(b)	28.3	27.8	29.3	31.0	31.0	31.0	30.8	30.5	29.0	28.7	28.5	25.5	月平均 29.3
3. その他事業実績													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室開催回数	0	3	5	5	4	6	8	5	0	1	3	2	42
介護予防プラン作成件数	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
来所者数	88	79	89	64	49	43	55	46	64	11	10	15	613
電話相談	575	515	531	602	604	351	511	606	536	185	121	265	5,402
訪問	167	134	143	160	163	79	129	109	135	111	80	106	1,516
○業務委託居宅介護支援事業所													
福島市社会福祉協議会	アグリホーム指定居宅介護支援事業所			「聖・オリーブの郷」居宅介護支援センター									
よるこび介護支援センター	ファミリーケア指定居宅介護支援事業所			こしのはま居宅介護支援センター									
あいの風 居宅介護支援事業所	ケアプランセンター小倉寺			ウインスリーひかり 居宅介護支援事業所									
居宅介護支援事業所 絆	ケアサポートせいふう 福島			ニチイケアセンター太平寺									
居宅介護支援センター よつ葉	ケアプランセンター らこぼ			しみずの里指定居宅介護支援事業所									
ひかり指定居宅介護支援事業所	ケアプランセンター あずま			計 17事業所									
②立子山・飯野地域包括支援センター(担当圏域内：立子山・飯野方部)													
1. 要支援1・2の認定者の状況把握数 (収入 19,389千円 支出 17,318千円)													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2把握人数	6	5	9	13	23	10	11	10	12	14	7	11	131
2. 介護予防サービス計画の作成													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	68	68	67	70	66	70	67	66	66	65	65	63	801
委託件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	68	68	67	70	66	70	67	66	66	65	65	63	801
包括職員数(b)	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	月平均 2.8
一人当たりの担当件数(a)／(b)	22.7	22.7	33.5	35.0	22.0	23.0	22.0	22.0	22.0	21.7	21.7	21.0	月平均 24.1

3. その他事業実績													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室開催回数	3	9	12	1	7	8	5	8	4	4	7	7	75
介護予防プラン作成件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
来所者数	6	1	2	4	5	5	8	13	2	3	9	2	60
電話相談	19	10	22	16	22	26	13	23	18	82	34	48	333
訪問	54	42	45	33	47	42	55	46	55	66	60	66	611

3. 障害福祉サービス事業

(1)障害者デイサービス事業

(収入 1,967千円 支出 1,348千円)

利用者の自立促進、生活の質の向上、身体機能の維持向上等を図ることができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護や、その他必要な援助を行った。

①福島市中央デイサービスセンター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用回数	15	16	17	24	23	25	23	23	22	23	23	25	259
実利用者数	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	月平均 3.8
1人あたり月平均利用回数(回)	5.0	5.3	5.7	6.0	5.8	6.3	5.8	5.8	5.5	5.8	5.8	6.3	月平均 5.7
実施日数(日)	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	25	27	309

4. 介護保険等事務(事業係)

(収入 272千円 支出 29,783千円)

①介護保険事業実績管理

②介護報酬請求事務

③利用料請求事務

④非常勤職員賃金支払業務

⑤介護職員処遇改善加算に関する業務

⑥職員の研修に関する業務

⑦実習生の受入れ

次世代の福祉人材を育成するため、積極的に実習生の受け入れを行い実地教育の場を提供した。

研修内容	人数	学校名
教員免許取得のための介護実習	42	福島大学 白鷗大学
介護福祉士取得のための研修	6	福島学院大学 郡山健康科学専門学校 福島介護福祉専門学校
介護職員初任者研修	3	福島北高校
福祉体験、現場見学	13	渡利中学校 県立盲学校
計	64	

5. 指定管理者事業

福島市指定管理者制度により協定を締結し、「福島市中央デイサービスセンター」及び「福島市飯野デイサービスセンター」の指定管理者として、施設の維持管理に関する業務を行った。

(1)福島市中央デイサービスセンター

福島市森合町10-1 福島市保健福祉センター1階
(①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式)

(2)福島市飯野デイサービスセンター

福島市飯野町字西宮平25-1 福島市飯野地域福祉センター内
(①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式)

平成27年度 福島市飯野地域福祉センター

指定管理者 事業報告

福島市飯野地域福祉センターの指定管理者として、地域福祉推進の活動拠点として地域福祉の向上を図るため次の事業を実施した。 (10,616千円)

1. 施設および設備の維持管理に関する業務を行った。
2. 地域福祉の向上を図るための施設の提供を行った。

○集会施設（会議室・和室）の利用状況

区分	利用団体数（件）			利用人数（人）		
	H27	H26	増減	H27	H26	増減
4月	30	32	△2	589	706	△117
5月	25	24	1	389	393	△4
6月	29	29	0	580	475	105
7月	25	26	△1	496	706	△210
8月	15	13	2	248	223	25
9月	28	30	△2	479	476	3
10月	25	40	△15	471	679	△208
11月	26	23	3	490	639	△149
12月	27	23	4	490	460	30
1月	22	28	△6	424	472	△48
2月	21	31	△10	478	526	△48
3月	30	42	△12	504	904	△400
合計	303	341	△38	5,638	6,659	△1,021

3. 飯野町内で避難生活を送る飯舘村の仮設住宅住民等との交流活動の支援を行った。

○地元婦人会と仮設住宅の飯舘村民との交流会

- ・開催日：平成27年7月2日（木）
- ・会場：福島市飯野地域福祉センター
- ・内容：ICU学生によるミュージカルと昼食交流
- ・参加者：131名

4. 施設内に団体活動等紹介コーナーを設け、地域住民の自主的な地域福祉活動の支援を行った。
5. 地域団体等との協働により施設の環境美化等を促進し、安全で安心して利用できる施設運営を行った。
- ・実施日：4月25日、5月1日・9日・25日、6月25日、7月25日、8月25日 延べ7日間
 - ・協力団体：地元町内会、長寿会等
6. 施設の利用促進と地域福祉の向上を図るため、自主事業を行った。
- デイサービスや地区内保育所等で活用できるお神輿作成
 - ・6～7月作成
 - 飯野地域福祉センターやデイサービスセンターに飾るための門松作成
 - ・12月作成 → 28年度は飯野仮設飯館自治会及び地域のボランティアから作成講習依頼あり
 - 第9回「飯野つるし雛まつり」への参画
 - 飯野地域福祉センターでも、デイサービス利用者等が作成したつるし雛を施設に飾り付け、地域と一体となって地域伝統のつるし雛まつり事業を支援した。
 - ・2月20日（土）～3月6日（日）
7. 施設の防火管理及び職員の防災教育を図るため、初期消火、通報連絡、避難誘導等を連携して行う総合的な消防訓練を行った。また、防火管理者として防火管理上必要な防火管理再講習を受講し、施設の防火管理に努めた。
- ・消防訓練実施日（1回目）：12月8日（火）
 - ・消防訓練実施日（2回目）：3月30日（水）
 - ・防火管理再講習 実施日：1月20日（水）
場 所：岩沼市消防本部

平成27年度 福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 受託事業報告

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館では、在宅身体障がい者の自立及び社会参加促進のため、次の事業を実施した。

1 デイサービス支援事業 (1,887千円)

脳卒中後遺症者等を対象に、医師の診察、理学療法士の指導による訓練器具を使用しての自主訓練及び他動訓練を行った。

延回数 44回 延人数 347名

2 デイサービス事業 (801千円)

身体障がい者を対象に、創作的活動教室等を実施した。

No	事業名	延回数	延人員	内 容
1	史跡めぐり	1	24	在宅身体障がい者を対象に、歴史や文化を学びながら、またレクリエーションを通し、相互の親睦と交流を図った
2	将棋・オセロ大会	1	23	
3	吹矢教室	2	28	在宅身体障がい者を対象に手指の機能回復訓練を兼ねるとともに、想像力を養い社会生活の向上を図った
4	こもの作り教室	5	44	
5	手打ち蕎麦体験教室	2	19	
6	山野草教室	6	87	
7	障がい者ボランティア入門講習会(視覚障がい者編)	2	34	市民を対象に障がい者ボランティアのきっかけづくりを図った
	計	19	259	

3 社会参加促進事業 (762千円)

市民を対象に身体障がい者ボランティアの養成を実施した。

No	事業名	延回数	延人員	内 容
1	点字入門講習会	6	59	市民を対象に視覚障がい者を支援する点訳・音訳ボランティアを養成した
2	点字講習会基礎課程	12	93	
3	点字学習指導員講習会	6	38	
4	音訳講習会	6	67	
5	要約筆記者養成講習会	11	40	市民を対象に聴覚障がい者・中途失聴者等を支援する要約筆記者を養成した
	計	41	297	

4 手話通訳者設置事業 (10,525千円)

手話通訳者2名を福島市役所障がい福祉課へ出向させ、聴覚障がい者への手話通訳等の業務を実施した。

・通訳件数 769件

平成27年度福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 指定管理者事業報告

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館の指定管理者として、障がい者の福祉の増進を図るため次の事業を実施した。（16,082千円）

- 1 施設および設備の維持管理に関する業務を行った。
- 2 利用団体代表者と利用団体連絡会を開催し施設利用等についての意見交換を行い、管理運営に反映させた。
- 3 腰の浜会館で実施している事業内容を広く市民に周知するとともに、身体障がい者への理解を深めていただくことを目的に、実施事業等の写真・作品展を開催した。
- 4 災害、事故など緊急時の対応を円滑に行うため、会館利用者、町内会、隣接事業所、業務委託者、職員合同による消防訓練等を実施した。
- 5 会議室等、施設の貸出を行った。

■団体貸出

区分	団体数			利用件数（件）			利用人数（人）		
	H26	H27	増減	H26	H27	増減	H26	H27	増減
障がい者団体	30	31	1	462	436	△26	2,680	2,504	△176
ボランティア団体	7	7	0	45	44	△1	361	342	△19
公的機関等	3	3	0	63	58	△5	1,138	939	△199
計	40	41	1	570	538	△32	4,179	3,785	△394

■市委託事業利用

区分	事業数			利用件数（件）			利用人数（人）		
	H26	H27	増減	H26	H27	増減	H26	H27	増減
ディサービス支援事業	1	1	0	44	44	0	1,253	934	△319
ディサービス事業	6	6	0	18	18	0	367	381	14
社会参加促進事業	5	4	△1	35	35	0	386	355	△31
計	12	11	△1	97	97	0	2,006	1,670	△336

総計	52	52	0	667	635	△32	6,185	5,455	△730
----	----	----	---	-----	-----	-----	-------	-------	------